

開館時間：10時～18時
(中央館は火～金：20時)
休館日：毎週月曜日、
年末年始、その他臨時休館
(分館は国民の祝日・休日)

としょうかんたより

(中央館) TEL 22-3225 FAX 22-7118
(夜久野分館) TEL・FAX 37-1066

(三和分館) TEL 58-4715 FAX 58-4716
(大江分館) TEL・FAX 56-1017

あき 秋が深まってきました。食欲の秋、芸術の秋、スポーツの秋…
あき たの 秋は楽しめることがいっぱい！図書館はもちろん「読書の秋」。色々
なテーマで本の展示もしています。本が好きな人、図書館に集まれ！
ほん にがて ひと 本が苦手な人も、ちょっとのぞきに来てみてください。



10月27日から11月9日は読書週間



2022年 第76回 読書週間 標語

この一冊に、ありがとう

～ 今年の標語の作者 天野耕平さんの言葉 ～

読書で心が震える体験は、何物にも代え難い奇跡のようなものだ
おもいます。そして、自分の未来にはそんな奇跡がまだまだたくさん待
っているという妙な確信もあります。本に関わっているすべての人に
感謝を伝えたいです。

読書推進運動協議会ホームページより



としょうかん
図書館
まめちしき

「図書館が閉まっても本が返せる」

本を返したいのに図書館が閉まっている。そんな時は、返却ポストに入れてくださ
い。入口の近くに本を入れる場所を用意しています。こわれやすいDVD、CD
や紙芝居は返却ボックスに入れられません。(中央館にはDVD、CD専用返却
口があります。)



ブックトークのコーナー

今回のテーマ

いまこそ拍手を!

大きな声を出さずとも、誰かを応援したり、

感謝を伝えたり、幸せを願ったり。

拍手には人を思う素敵な力があります。

思わず拍手をしたくなる本を紹介します。



『トラのじゅうたんになりたかったトラ』

(ジェラルド・ローズ / 文・絵, 岩波書店)



ジャングルに住んでいたやせこけたトラは、宮殿の広間でおいしそうに食事をしている王様と家族がうらやましくてたまりません。ある日、トラはとんでもないことを思いつき…。

最後には、拍手をしたくなる、とびっきり愉快的絵本です。

『海をわたる動物園』

(いちかわ けいこ / 作, アリス館)

戦時中、食糧難などで動物を失った動物園。今のようにするには、多くの人たちの努力がありました。

平和への思いをはせるとともに、動物園への希望を抱いて生きていく人がいた。その人たちに感謝の拍手を送りたくなる、本当にあったお話。



『「オードリー・タン」の誕生』

(石崎 洋司 / 著, 講談社)

8歳で学校に絶望し、不登校。死をも考えたのにどうして希望を取り戻せたのか…。なぜみんなと同じことをしなければならぬのかと悩み、自分の力で切り開いていくオードリー・タンの伝記物語。読んでいて夢が広がっていくようなお話です。



児童おすすめの本



『きりんのまいにち』

にのみや ゆきこ さく みつむらとしよしゅつぱん
(二宮 由紀子/作, 光村図書出版)



うみ はい
海に入ってみたくなったり、カメレオンにさかだちをなったり、ひとりで
かくれんぼをしたり…。そんなきりんとなかまたちとの何気ない日々の中の
クスツと笑えるやさしいお話。短いお話が15話入っているので、どのお
話はなしよたの
話から読んでも楽しめます。

『世界の市場 おいしい! たのしい! 24のまちでお買い物』

ぶん かわでしよぼうしんしゃ
(マリヤ・バーハレワ/文, 河出書房新社)



くに た し いちば
国がちがえば食べているものがちがうって知っていましたか? 市場
をのぞいてみれば、その国の人々がどんな食事をしているかわかります。
いちば ようす たの えが
市場の様子が楽しいイラストで描かれているので、まるでその国に旅行
したような気分で、ちょっと物知りになれますよ。

『あっちもこっちもこの世はもれなく』

さく ピーエイチピーけんきゅうじよ
(いとう みく/作, PHP研究所)



あなたは、誰かとくらべて不公平だと思ったことがありますか? 背が低いこ
とを悩む公太。視力が悪い筑井さん。自分ではどうにもならないことが、世の
なかにはいろいろあって…。相手の思いや、違いを知ることで、心が少し軽くな
ったり、前を向けるかも。

『わくわく科学実験図鑑 工作編』

ちよ
(クリスティーナ・ハーカート・シュール/著, ディスカヴァー・トゥエンティワン)



みずどけい わ だま みぢか つか
水時計や輪ゴムギター、ビー玉ジェットコースターなど、身近なものを使
って、小学生が楽しく挑戦できる工学の実験を52点のカラー写真で
しょうかい ごかん つか
紹介。五感をいっぱい使い、なぜ? どうして? が解決し、楽しみながら
そうぞうりよく たか
創造力を高めていけます。

ティーンズ ほん おすすめの本



『マスクと黒板』



はまの きょうこ さく こうだんしゃ
(濱野 京子 / 作, 講談社)

コロナで休校していた中学校が再開し、そこで生徒たちが目にしたのは「コロナに負けるな！」のメッセージとともに描かれた見事な黒板アート。一方、文化祭も運動会も中止になり、味気ない学校生活を送る美術部の輝は級友たちとあるイベントを企画するが…。

『笹森くんのスカート』



こうべ はるま ちょ こうだんしゃ
(神戸 遥真 / 著, 講談社)

今年度からジェンダーフリー制服を導入した学校。夏休み明け、いきなりスカートで登校をはじめた笹森くん。「スカート穿いたら、どうなるかなって思っただよ。それ以外に理由っている？」
笹森くんと彼の友達、5人の視点からなる短編集。

『目で見ることばで話をさせて』



さく いわなみしよてん
(アン・クリア・レゾット / 作, 岩波書店)

11歳のメアリーは、島の誰とも手話で話し楽しく暮らしていた。ところがある日、島の調査に来ていた「科学者」に“生きた標本”として誘拐されてしまう。自由とことばを奪われたメアリーは、島での暮らしが当たり前ではなかったことに気付かされていく。

『13歳からの地政学 カイズクとの地球儀航海』



たなか たかゆき ちょ どうようけいざいしんぼうしゃ
(田中 孝幸 / 著, 東洋経済新報社)

今世界に起きている出来事を、地理的条件から考える地政学。
なぜロシアはウクライナと戦争をするのか？日本は近隣の国々とのような関係なのか？カイズクと呼ばれる謎の店長と、高校生の大樹、妹で中学生の杏の会話を通して、楽しく学べる1冊です。